

Press Release

プレスリリース

2008年10月16日

株式会社日本医療データセンター

報道関係各位

日本医療データセンター 『JMDC データで読むヘルスケアレポート』 vol. 11

50歳以上の高血圧は、脳疾患リスクが急上昇 ～高血圧 + 糖尿病で、脳梗塞・脳卒中が13人に1人～

医療データベースの構築・分析及び健康保険組合へのソリューション提供を行う、株式会社日本医療データセンター（東京都千代田区、代表取締役：木村 真也）は2008年10月、脳梗塞・脳卒中患者の病院受療率に関する調査を実施しました。この結果、50歳を超えたところから脳疾患リスクが急激に高くなり、糖尿病を併発する場合は13人に1人が脳梗塞または脳卒中と診断されたことを発表しました。

この調査は、2007年3月から2008年2月の1年間に日本医療データセンターが契約する健康保険組合加入者180,421人（30代以上の男女）のレセプト*データを解析したものです。

年代別に脳梗塞・脳卒中の病院受療率を調べたところ、40代では男女とも0.3%～0.4%程度だったのに対し、50代では1.4%と4～5倍、60代以上では16～24倍と、さらに受療率が上昇していました。また、生活習慣病の糖尿病・高血圧症・脂質異常症で病院受療した50歳以上の男女22,290人のうち、脳梗塞または脳卒中を発症した患者は1,122人。病気の組み合わせパターン**ごとに発症率を解析したところ、「高血圧症」の人の確率が高いことがわかりました。中でも女性の高血圧症かつ糖尿病グループでは、7.8%が脳疾患を発症していました。

*レセプト 診療報酬明細書のこと

**病気の組み合わせパターン

シーケンシャル・パターン解析。

病気のパターンと各々の病気の診療開始時期を考慮して、後に発症する病気の確率を算出する解析方法。

今回は糖尿病・高血圧症・脂質異常症の3つの病気とその後併発する病気を「脳梗塞・脳卒中」と定義した。

この分析から、北里大学医学部 佐藤敏彦准教授（公衆衛生学）は、以下のようにコメントしています。

「脳の血管も他の血管同様、加齢とともに動脈硬化が進みますが、糖尿病・高血圧症・脂質異常症などがあるとこの動脈硬化が加速し、脳卒中のリスクが高まります。生活習慣病のほとんどは、長い経過を経て病気が確立していきます。50歳を超えて急に発症する人が増えるのは、日々の少しずつの影響が積み重なって病気となって現れるのに、それなりの年月が必要だからでしょう。データからは特に高血圧が脳卒中に影響が大きいことが示されています。高血圧は脆くなった血管の破綻のきっかけにもなることから、血圧が高めの人は食事対策を含めた早期の対策を始めましょう。」

■ 本件に関する問い合わせ先

株式会社日本医療データセンター ヘルスケア事業部 担当 小沼・大澤

メールアドレス：FAQ@jmdc.co.jp (TEL)：03-3511-6781 (FAX)：03-3511-6782

Press Release

プレスリリース

◆資料

■年代別 脳梗塞・脳卒中病院受療率

	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
男性	0.1%	0.4%	1.4%	6.4%
女性	0.1%	0.3%	1.4%	7.2%

(分析対象:30代以上の男女 180,421人 分析期間:2007年3月~2008年2月)

■50代以上の生活習慣病患者 病気パターン別 脳梗塞・脳卒中発症率

	病気のパターン		パターン別	脳梗塞・脳卒中	脳梗塞・脳卒中
			患者数	患者数	発症率
男性	高血圧症	糖尿病	1,087	67	6.2%
	高血圧症		3,381	186	5.5%
	高血圧症	糖尿病	1,539	85	5.5%
	高血圧症	脂質異常症	1,782	84	4.7%
	糖尿病		1,242	42	3.4%
	糖尿病	脂質異常症	1,031	30	2.9%
	脂質異常症		1,646	30	1.8%

	病気のパターン		パターン別	脳梗塞・脳卒中	脳梗塞・脳卒中
			患者数	患者数	発症率
女性	高血圧症	糖尿病	615	49	7.8%
	高血圧症		2,770	212	7.7%
	高血圧症	糖尿病	1,302	82	6.3%
	高血圧症	脂質異常症	2,219	123	5.5%
	糖尿病		559	28	5.0%
	糖尿病	脂質異常症	720	30	4.2%
	脂質異常症		2,397	75	3.1%

(分析対象:50代以上男女生活習慣病患者 22,290人 分析期間:2007年3月~2008年2月)

■関連情報

メタボリックシンドローム対策レシピ「Pepl eco-recipe(エコレシピ)vol.17」に詳しい情報が掲載されています。

詳しくはこちら: <http://www.jmdc.co.jp/eco-recipe>

◇JMDC データで読むヘルスケアレポートとは

株式会社日本医療データセンターが、月1回発表するレポートで、同社独自の技術を用いた JMDC データ*を利用して、リアルな患者のデータから、日本人の健康や疾病の傾向を分析するものです。

*JMDC データ: 株式会社日本医療データセンターが約 33 万人(2007 年 11 月現在)の健康保険組合加入者から収集した健康診断の情報やレセプト情報を解析したデータ。個人を特定しないよう加工され、時系列での処理が可能のため、治療の経過などを疫学的に検証することが可能。

◇日本医療データセンター(<http://www.jmdc.co.jp/>)

個人を特定しない医療データ生成・分析を行うことができる、日本で初めての会社として、健康保険組合および製薬会社などにデータ活用ソリューションを提供しています。かつては個人情報の問題と、医療機関ごとに異なる用語やフォーマットによりデータとして利用することが難しかったレセプトですが、日本医療データセンターでは、これまで約 1,080 万件(2008 年 3 月末時点)のレセプトデータの処理実績で培ったノウハウから、傷病、医薬品、診療行為、投薬などの分析マスターを独自で作成いたしました。本年 4 月から開始された特定保健指導の本格的実施により、データの基盤整備と解析手法のニーズが拡大していきます。日本医療データセンターは、こうした施策を改善に繋げるために、「データによる検証」を提言し一翼を担ってまいります。